

# 京都市生物多様性プラン（2021-2030） に掲げる施策の取組状況

# 目標①施策① 文化を支える生物資源の持続可能な利用〈達成項目①〉

## ●京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度（環境保全創造課）

### <概要>

#### (1) 団体

京都らしさを支えてきた生きものの保全、再生及び持続可能な利用の取組を実施する団体を認定し、必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣

#### (2) 個人

京都の希少な植物（ヒオウギ、ノカンゾウ、フタバアオイ及びノハナショウブ）を自宅又は市民の庭（武田薬品工業(株)京都薬用植物園）において生息域外保全に取り組んでいただき、文化を支える生物資源の持続可能な利用を促進

### <令和6年度実績>

・認定数：団体 3件（累計39件、229者で取組）、個人 91者（累計253者）



団体版（学校内におけるキクタニギクの保全）



個人版（市民の庭での育成講習会）

# 目標①施策① 文化を支える生物資源の持続可能な利用 〈達成項目①〉

## ●魚道設置など生態系と調和した河川環境保全活動の推進 《推進プロジェクト【川】》 (農林振興室)

### <概要>

市内河川において水生生物の生息環境の保全や市民理解の促進に取り組む民間団体による河川環境改善活動や魚道設置等の活動を支援することで、内水面漁業の活性化に繋げる

### <令和6年度実績>

- ・活動組織数：2団体、活動面積：15.7ha（2団体の計）
- ・鴨川の4か所の堰において魚道を設置し、また、桂川においても堰を原因として滞留している魚類の汲み上げ放流を行う等、魚類の生息地を拡大させる取組を実施
- ・令和6年10月～11月 フォーラムや食味会等の啓発事業を実施



魚道設置



汲み上げ放流

# 目標①施策① 文化を支える生物資源の持続可能な利用 〈達成項目①〉

## ●チマキザサ再生プロジェクト 《推進プロジェクト【森】》 (左京区役所地域力推進室、農林振興室、環境保全創造課)

### <概要>

絶滅の危機に瀕した左京区北部山間地域のチマキザサが再生し、祇園祭や和菓子、京料理に継続して活用されることを目標に、チマキザサ再生環境整備、担い手確保及び技術継承支援、流通促進、普及啓発の活動を実施

### <令和6年度実績（抜粋）>

- ・ササの葉の採取実績は10万枚で、そのうち3万枚を食品用として出荷
- ・令和6年4～11月 加工・厄除け粽づくり体験イベント等を計3回実施
- ・令和6年6～10月 花背小中学校・高倉小学校にて学習会等を計4回実施
- ・令和6年7月～令和7年3月 既存柵内での支障木の伐採、苗移植、モニタリング
- ・令和6年11月 自然共生サイト認定授与式及び現地視察
- ・令和6年11～12月 防鹿柵の新設及び環境整備（きょうと生物多様性パートナーシップ協定を締結した(株)京都環境保全公社からの支援を活用）



新たに設置した防鹿柵



厄除け粽づくり体験の様子



ササ苗移植の様子

# 目標①施策② 自然の持つ機能を活かした緑と水辺の整備 〈達成項目②〉

## ●雨庭整備事業（みどり政策推進室）

### <概要>

地上に降った雨水を、下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくり地中に浸透させる構造を持った植栽空間である雨庭を、京都の造園技術力を活かして整備を進め、訪れる人々により楽しんでもらえる緑を創出

### <令和6年度実績>

- ・整備箇所：2か所（累計16か所）



十条烏丸交差点（南区）



京阪淀駅西口（伏見区）

# 目標①施策② 自然の持つ機能を活かした緑と水辺の整備 〈達成項目②〉

## ●生物の生息環境に配慮した川づくり（善峰川都市基盤河川改修事業） （河川整備課）

### <概要>

人間と自然が共存できる川を保全・復元するために、その河川固有の生態系に配慮し、周辺環境に対して負荷の少ない河川事業を実施

善峰川においては、植生を促す多孔質な護岸を採用し、多自然川づくりを実施

### <令和6年度実績>

- ・河川改修工事の実施

改修前



改修後



# 目標①施策② 自然の持つ機能を活かした緑と水辺の整備 〈達成項目②〉

## ●自然共生サイトへの認定促進（環境保全創造課）

### <概要>

有志の企業・自治体・団体による「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加し、きょうと生物多様性センター等を通じて、「自然共生サイト」への認定促進や情報発信、率先事例の創出等に取り組む

### <令和6年度実績>

- ・令和6年度認定件数：8件（累計：10件）
- ・自然共生サイトの認定に係るワーキンググループ会議の開催：2回
- ・令和6年6～8月 自然共生サイトに係るパネル展示（市役所本庁舎、ゼスト御池、さすてな京都）
- ・令和6年10月 宝が池連続学習会2024において話題提供



令和6年度前期認定  
梅小路公園 朱雀の庭・いのちの森



令和6年度後期認定  
島津の森

# 目標①施策③ サステナブルツーリズムの推進〈達成項目③〉

## ●京都一周トレイル®（観光MICE推進室）

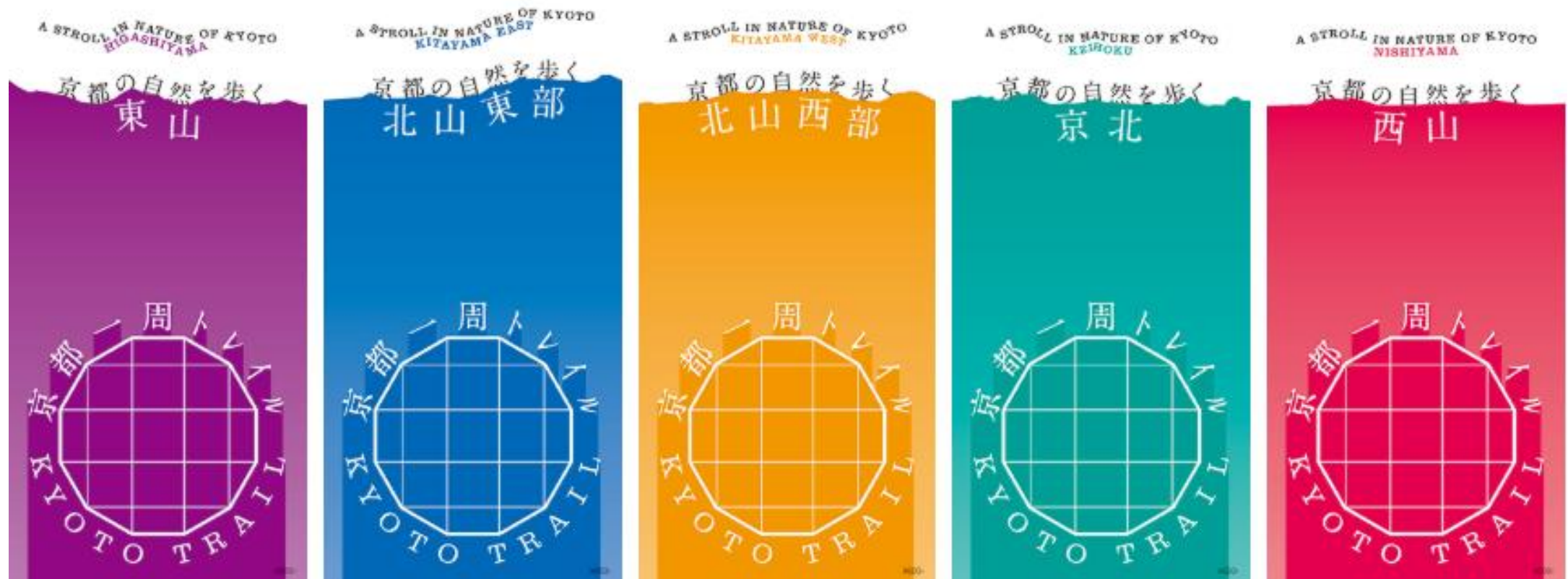
### <概要>

京都を取り囲む山々に整備された「京都一周トレイル®※」を通して、利用者に里山の豊かな自然や歴史ある街なみなどを楽しんでいただく

※ 京都一周トレイル®：全長約130km（東山～北山～西山：約 80km、京北 約50km。全5コース）

### <令和6年度実績>

- ・京都を取り囲む山々に整備された「京都一周トレイル®」を通して、利用者に豊かな自然や歴史ある街なみなどを楽しんでいただいた



京都一周トレイル®のガイドマップ

# 目標①施策③ サステナブルツーリズムの推進〈達成項目③〉

## ●山村都市交流の森などを生かしたグリーンツーリズム（農林振興室）

### <概要>

山村都市交流の森を拠点に、豊かな自然を生かしたイベントを実施

### <令和6年度実績>

- ・イベントの開催：5回



魚つかみ



秋のイベント

# 目標②施策① 重点保全地域における保全強化〈達成項目①〉

## ●天然記念物深泥池の保全・活用（文化財保護課）

### <概要>

国指定天然記念物「深泥池生物群集」について、平成16年9月に本市が取りまとめた「天然記念物深泥池生物群集保全・活用のための基本方針」に基づき、水質モニタリング、外来生物（ブルーギル、ブラックバス等）除去、防鹿柵の一部設置、路面水流入の防止措置等、生態系保全を実施

### <令和6年度実績>

- ・水質のモニタリング調査
- ・浮島等における希少種の保護
- ・外来生物（ブルーギル・ブラックバス・オオバナイトタヌキモ等）の除去
- ・防鹿柵の一部設置



深泥池



防鹿柵の設置

# 目標②施策① 重点保全地域における保全強化〈達成項目①〉

## ●小倉山再生プロジェクト（風致保全課）

### <概要>

「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」に基づき、平成25年度から10年間、小倉山において良好な森林景観を保全・再生するため、京都市や地域組織、地元社寺、企業などの様々な主体が連携し、それぞれの役割分担のもと展開する持続的な森林景観づくりを実施

本プロジェクトは令和4年度に終了したが、引き続き、良好な森林景観の保全・再生に向け、地域の方々と共に維持管理活動を進めている

### <令和6年度実績>

- ・維持管理活動：11回



小倉山における維持管理活動の様子

# 目標②施策② 里地里山の保全・回復〈達成項目②〉

## ●京のグリーン農業推進事業（農林振興室）

### <概要>

グリーンな栽培体系への転換に向けた取組支援及び消費者理解の醸成に向けた地域ブランドの推進

### <令和6年度実績>

- ・ 取組団体数：3件



バイオ炭実証



実証穂調査

## 目標②施策② 里地里山の保全・回復〈達成項目②〉

### ●市民とはぐくむ彩りの森再生プロジェクト（農林振興室）

#### <概要>

森林所有者をはじめ、市民や団体、企業など、多様な担い手による森づくりがより一層進むよう、市民が関心を持つきっかけを創出する普及啓発や、団体や企業等による自発的な森林整備活動等の取組を支援する。

また、ナラ枯れ等により荒廃した京都三山において、災害に強く、四季の彩りが感じられる森林への再生に取り組んでいるが、再生後も、植栽木の保育等、森林の適切な管理を継続して行うため、新たな担い手との連携を目指す。

#### <令和6年度実績>

- ・普及啓発支援 4団体（13回）、森林整備活動支援 3団体、保育作業 44箇所



市民による森づくり



森林環境教育

## 目標②施策③ 希少種の保全・回復〈達成項目③〉

### ●特別天然記念物オオサンショウウオ保護事業（文化財保護課）

※令和6年度で終了

#### <概要>

市内河川に生息する国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ（在来種）とチュウゴクオオサンショウウオ（外来種）の交雑が進み、在来種の絶滅が危惧される。保全対策に資する情報を得るため、市内全域でオオサンショウウオ類の生息状況調査を実施。遺伝子鑑定により、交雑個体又は外来種と判定された個体は隔離

#### <令和6年度実績>

- ・鴨川水系、桂川水系の各所において、在来種・外来種・交雑個体の生息状況をDNA鑑定によって調査し、その過程で捕獲した外来種や交雑個体は河川からの隔離を行った



オオサンショウウオ（在来種）

# 目標②施策③ 希少種の保全・回復〈達成項目③〉

## ●国内希少種の域外・域内保全の推進（動物園）

### <概要>

国の天然記念物で国内希少野生動植物種のツシマヤマネコや京都府の絶滅寸前種であるイチモンジタナゴについて、飼育下繁殖を推進し、国内及び地域の野生動物の保全につながる取組を強化

### <令和6年度実績>

- ・第13回「やまねこ博覧会」を開催
- ・守れ！イチモンジタナゴプロジェクト2024を開催



イチモンジタナゴプロジェクトの様子



やまねこ博覧会の様子

## 目標②施策③ 希少種の保全・回復〈達成項目③〉

### ●衛生環境研究所における地域に貢献する生物多様性保全事業（衛生環境研究所）

#### <概要>

武田薬品工業(株)京都薬用植物園の協力により設置した植栽については、府市協働により引き続き栽培・展示し、来場者が植物を実際に「見て」、「触れて」、生物多様性の保全について学習する場を提供している

また、当施設では、上記の植栽において、キキョウとオケラの生息域外保全に取り組んでいることから、「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」の認定を受け、生物多様性に係る取組の更なる推進を図ることとしている

#### <令和6年度実績>

- ・テラス及びパネル展示前を待合スペースとして開放し、来庁者に自由に見学していただいた
- ・希少種の生息域外保全に取り組むとともに、来庁者に対し、食中毒の原因となる誤食を防ぐための啓発を行った



生息域外保全しているキキョウ及びオケラ

パネル及び生薬の展示

# 目標②施策④ 外来生物対策〈達成項目④〉

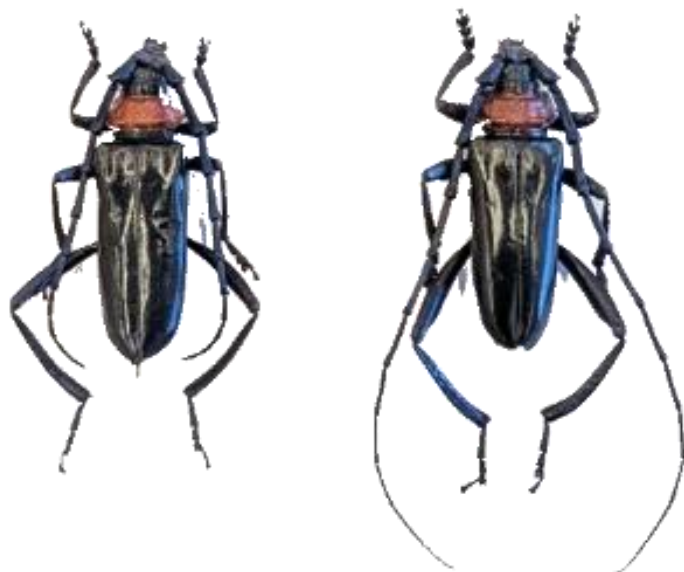
## ●侵略的外来生物の侵入防止（環境保全創造課）

### <概要>

他都市からの侵入に対する水際対策や、発生した被害木の初期防除を行う。具体的には、市民や事業者等からの通報に基づき、現地調査、拡散防止対策及び防除を行う。また、市民や事業者自身が行う防除の支援体制の構築を行う

### <令和6年度実績>

- ・全庁に対し、本市所有の土地又は施設内の確認と関係団体への周知を依頼
- ・市域における被害木の初確認及び当該被害木への所要の措置の実施
- ・被害木を確認した周辺地域での現地調査の実施
- ・市民から市内での発見情報をお知らせいただく「クビアカツヤカミキリ調査」の開始
- ・京都市情報館や京都市公式SNS、市民しんぶんでの情報発信
- ・イベント時におけるパネル展示や各区役所・支所等でのチラシ配架による周知



クビアカツヤカミキリ（成虫）

### 「クビアカツヤカミキリ調査」って何？

「クビアカツヤカミキリ調査」は、市民の皆様から、市内で発見した**特定外来生物クビアカツヤカミキリ**の発見情報を報告いただくことで、迅速な防除・分布拡大の抑え込みを図るため、実施しています。

クビアカツヤカミキリは、サクラやウメ、モモなどバラ科の樹木を食害し、枯死させる昆虫であり、生態系や農作物への被害のほか、景観や観光業への影響も懸念されています。

本市では、令和6年7月に初確認されており、非常に繁殖力を持つことから、このまま分布が広がれば、学校や観光地などでサクラが見られなくなるかもしれません。



枯死したサクラ  
（出典：埼玉環境科学国際センター）

☆クビアカツヤカミキリを発見されたら、以下の行動をお願いいたします☆

PAGE TOP

「クビアカツヤカミキリ調査」ホームページ

# 目標②施策⑤ プラスチックごみへの対策〈達成項目⑤〉

## ●給水スポット等の設置（資源循環推進課）

### <概要>

京都市施設等へ「給水スポット」として水道直結式の給水機を設置するとともに、地域のイベント等の会場にも水道直結式の給水機を設置し、ペットボトル等の使い捨てプラスチック製の飲料容器の削減を目指す。

### <令和6年度実績>

- ・給水機設置数：累計148か所
- ・イベント用給水機設置件数：13件



イベント用給水機



給水機（中央図書館）



給水機（京エコロジーセンター）

# 目標②施策⑤ プラスチックごみへの対策〈達成項目⑤〉

## ●市民・事業者等による自主的な美化活動の推進（まち美化推進課）

### <概要>

自主的な美化活動の定着及びまちの美化意識の高揚を図る美化パスポート事業を実施するとともに、自主的な清掃活動を行う市民・団体等にごみ袋の給付や清掃用具の貸与、回収ごみの収集等を支援することで、プラスチックごみの散乱を防止

### <令和6年度実績>

- ・美化パスポート事業：23回実施（参加者：1,331名）
- ・まちの美化実践活動助成：1,547件（参加者：137,524名）



友・遊・美化パスポート事業の活動風景

# 目標②施策⑥ 地球温暖化に対する緩和策と適応策の推進〈達成項目⑥〉

## ●京都市地球温暖化対策計画〈2021-2030〉の推進（地球温暖化対策室）

### <概要>

「2050年CO2排出量正味ゼロ」に向けて、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減することを中間目標に掲げ、ライフスタイル・ビジネス・エネルギー・モビリティの各分野について、CO2が排出しないものへ転換していくことに加え、森林・農地などの吸収源対策などに取り組むとともに、気候変動による影響に対応していく適応策についても推進する

### <令和6年度実績>

- ・令和5年度温室効果ガス排出量：567.6万t-CO<sub>2</sub>  
（基準年度（2013年度）比27.6%削減）

#### ライフスタイル

- 環境学習プログラム
- 222エコ学区での地域活動



- 脱炭素ライフスタイル推進

使用済衣服の回収 & 循環プロジェクト等



#### ビジネス

- 大規模排出事業者：  
排出削減計画の目標削減率を  
約2倍に(2023～)
- 中規模事業者：  
「エネルギー消費量等報告書制度」  
を創設(2022～)

#### エネルギー

- 300m<sup>2</sup>以上の建築物再エネ設置義務
- 太陽光発電上乗せ設置促進補助  
（重点対策加速化事業）
- 太陽光パネルの共同購入、PPA促進
- 再エネ需要の促進
- 住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業



#### モビリティ

##### 次世代自動車等について

- 大規模排出事業者：  
導入義務を強化(2023～)  
（新車購入時2/3以上）
- 自動車販売事業者：  
販売実績報告義務(2022～)
- 公民連携でのEV利用環境  
の整備



# 目標③施策① エシカル消費の推進〈達成項目①〉

## ●2050年CO2ゼロをめざす脱炭素ライフスタイル推進事業（地球温暖化対策室）

### <概要>

「2050年CO2排出量正味ゼロ」に向けて、地球温暖化対策の重点施策として位置付けている「ライフスタイルの転換」として、「京都版・脱炭素ライフスタイル」像を構築し、市民に取り組んでいただく仕掛けの創出及び実証と社会実装の推進を目指す。

### <令和6年度実績（抜粋）>

- ・実証に進んだプロジェクト：20件



使用済衣服の回収&循環プロジェクト  
循環フェスの様子



地域での生ごみたい肥の活用推進プロジェクト  
LFCコンポストバッグの写真

# 目標③施策① エシカル消費の推進〈達成項目①〉

## ●ホームページ「京・けんこうひろば」での総合的な情報発信（健康長寿企画課）

### <概要>

行事食やおばんざい等の京の伝統に根差した料理レシピ等の紹介や、健康づくり、地産地消の推進、環境負荷の軽減、食文化の継承、食品の安全性など、ホームページで食に関する様々な情報発信を行い、家庭や地域における主体的な食育の推進を支援

食情報発信ポータルサイトとして運営してきた「京（きょう）・食ねっと」を、令和6年5月に「京（きょう）・けんこうひろば」としてリニューアルし、健康づくりに関する要素を一体的に発信

### <令和6年度実績>

・ ページビュー数：148,487件



ホームページ「京・けんこうひろば」

# 目標③施策② 自然とのふれあいや学習の機会の充実〈達成項目②③④〉

## ●さすてな京都での「自然との共生」の学習プログラム（南部クリーンセンター）

### <概要>

南部クリーンセンターに併設された環境学習施設「さすてな京都」では、ビオトープに京都ゆかりの植物を育成するとともに、ビオトープを活用した学習プログラムや生物多様性に関連する学習プログラムを実施

### <令和6年度実績>

- ・来館者数：61,108名
- ・子ども向け学習プログラム：144回（参加者：4,361名）



ビオトープ



イベントの様子（プログラム）

# 目標③施策② 自然とのふれあいや学習の機会の充実〈達成項目②③④〉

## ●事業者等との連携による食育授業（学校指導課）

### <概要>

事業者や団体と連携し、市立小学校において野菜の栽培等を通じて、子どもたちに食物を育てる大変さや喜びを体験させ、食に対する興味・関心を高めさせることを目的として、食育授業を実施  
さらには、事業者の農場を活用した栽培・収穫体験も実施

### <令和6年度実績>

- ・食育授業実施校：計30校（参加者：1,579名）
- ・農場体験：計1校（参加者：120名）



# 目標③施策② 自然とのふれあいや学習の機会の充実〈達成項目②③④〉

## ●青少年科学センターでの常設展示「京都府レッドデータブックの生物標本展」の公開（青少年科学センター）

### <概要>

「京都府レッドデータブックの生物標本～「絶滅した」・「絶滅の恐れのある」生きものたち～」と題した「京都府レッドデータブック2015」掲載の希少生物の標本や生体展示、パネル展示を公開（令和5年12月より展示開始）

### <令和6年度実績>

- ・年間入場者数：144,305名



京都府レッドデータブックの生物標本展の展示内容の一例



自然保全団体ネットワーク会議（生物多様性センター勉強会）の様子

# 目標③施策③ 生物多様性の学びの拠点の充実〈達成項目②③④〉

## ●いのちかがやく☆4園館連携事業（動物園、青少年科学センター、環境保全創造課）

### <概要>

動物園、植物園、京都水族館及び青少年科学センターでは、かけがえのない自然環境の次世代への継承及び体験・啓発を目的として、「きょうと☆いのちかがやく博物館」として連携協定を締結し、一年を通して様々な交流連携事業を展開

### <令和6年度実績>

- ・ 令和6年4月 動物園にて「野生動物学のすすめ2024」を開催し、ブース出展、体験型ワークショップを実施
- ・ 令和6年7月 梅小路公園手づくり市にて「きょうと☆いのちかがやく博物館@梅小路公園手作り市」を開催し、ブース出展、動物のフンをテーマにしたクイズの実施
- ・ 令和6年9月 京都府立植物園で行われた「きょうと☆いきものフェス！2024」の一部としてワークショップ「いきもの広場」を実施
- ・ 令和7年2月 青少年科学センターにて開催された「科博連サイエンスフェスティバル」にて、ブース出展、ワークショップを実施



動物園

「野生動物学のすすめ2024」



植物園



青少年科学センター

「科博連サイエンスフェスティバル」 25

# 目標④施策① 生物多様性に配慮した企業活動の促進〈達成項目①〉

## ●きょうと生物多様性パートナーシップ協定制度（環境保全創造課）

### <概要>

民間資金等を活用して、生物多様性の保全活動に取り組む団体を支援等するため、府市共同の制度として創設し、運用

### <令和6年度実績>

- ・ 令和6年5月 (株)京都環境保全公社と協定締結  
協定に基づき、チマキザサ再生に向けた取組を実施
- ・ 令和7年1月 京都中央信用金庫と協定締結  
協定に基づき、鴨川流域の生物多様性の保全活動等への支援と生物多様性情報のデータベース化等への支援



(株)京都環境保全公社との  
協定締結式



(株)京都環境保全公社の寄付に基づく  
防鹿柵の設置



京都中央信用金庫との  
協定締結式

# 目標④施策② 公共施設・事業における配慮〈達成項目①〉

## ●「京都市公共建築物脱炭素仕様」に基づく緑化等の推進（公共建築企画課）

### <概要>

公共建築物の整備においては、環境に配慮した設計仕様として「京都市公共建築物脱炭素仕様」を策定し、建築物の高断熱化や省エネ化、緑化等に取り組み生物多様性に寄与

### <令和6年度実績>

- ・新築におけるCASBEE京都Aランク以上の取得：4件



市庁舎全景



市庁舎中庭

# 目標④施策③ 生物多様性保全のネットワーク形成〈達成項目②〉

## ●京都市生物多様性プラン(2021-2030)の推進に係る活動交流会（環境保全創造課）

### <概要>

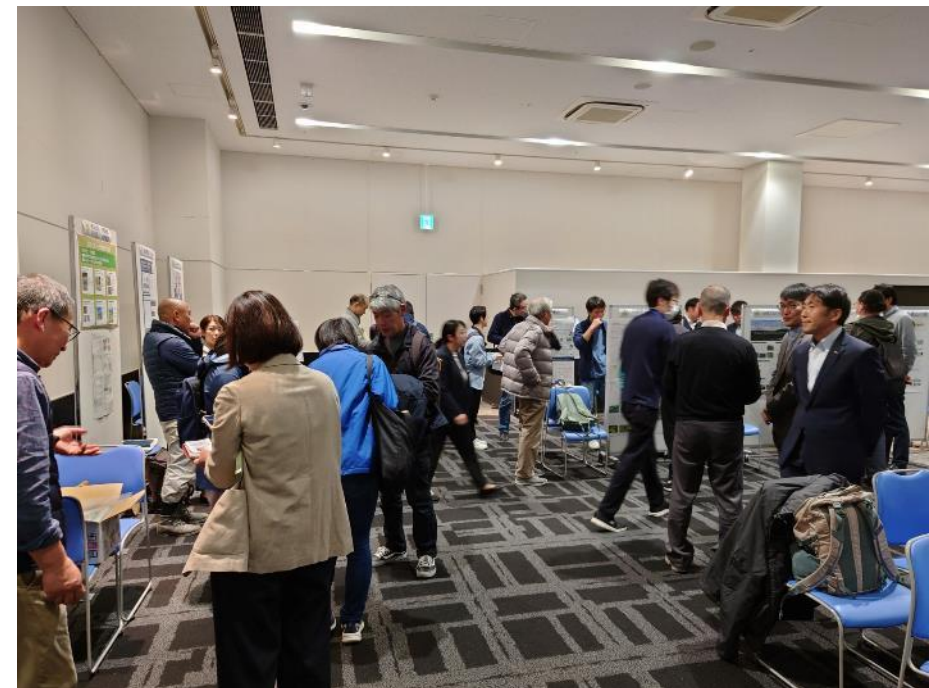
生物多様性保全に係る活動団体、事業者等による取組を推進するとともに、市民の生物多様性保全に係る理解を深め、行動を促進することを目的として、研究者及び活動団体等による研究及び活動内容を共有し、交流する活動交流会を開催

### <令和6年度実績>

- ・「森・里・街・川」のつながりの重要性を知り、各エリアにおける取組事例・課題等を共有したうえで、参加者同士が交流することを目的に活動交流会を開催（きょうと生物多様性センター主催「生物多様性に関する流域連携のキックオフ・フォーラム」と同時開催）
- ・令和7年3月 参加者179名（会場93名、オンライン86名）



事例紹介



交流会

# 目標④施策④ 情報の集約・発信〈達成項目③〉

## ●ポータルサイト「京・生きもののミュージアム」（環境保全創造課）

### <概要>

生物多様性に関する知見を集約・発信する「バーチャルミュージアム機能」と、多様な活動事例や活動イベント等を集約・発信し、主体同士又は主体と活動のつながりを促す「プラットフォーム機能」を充実させたポータルサイトを令和4年4月1日公開し、当該ポータルサイトを、生物多様性に関する情報の収集・発信の場をはじめ、保全活動を行う事業者及び団体と活動に興味がある人をつなぐ場として運営

### <令和6年度実績>

- ・ 訪問回数：2,623回／月



ポータルサイト「京・生きもののミュージアム」

# 目標④施策⑤ 知見の集積〈達成項目④〉

## ●京の生きものの生息調査（環境保全創造課）

### <概要>

市民参加のもと、市内で見られる生きものの生息状況を把握するとともに、京都市の緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を評価するために実施

令和6年度からは、調査対象種に「ミナミメダカ」を追加し、同年9月からは「クビアカツヤカミキリ調査」も実施

「京の生きものの生息調査」をより広域に拡大し、「きょうと生物多様性センター」と協働で、ドングリをテーマに住民参加型の生物調査を実施

### <令和6年度実績>

- ・【ツバメ、ハグロトンボ、セミ、ウグイス、ミナミメダカ】

報告数：103件

- ・【ドングリ】

報告数：51件

- ・【クビアカツヤカミキリ】

報告数：1件



ドングリみわけ図鑑



ツバメ



ハグロトンボ



セミ



ウグイス



ミナミメダカ



クビアカツヤカミキリ（成虫）

# 目標①～④ きょうと生物多様性センター

## <概要>

京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、令和5年度に「きょうと生物多様性センター」を設置

同センターでは、本部事務機能やコーディネートなどを担う本部オフィス、ネットワーク形成や情報発信などを行う交流オフィス及び生物多様性情報の集積・データベース化などを行う情報オフィスの3拠点を設け、「収集」「利活用」「継承」をテーマに、効果的かつ持続可能な生物多様性保全の取組を推進

## <令和6年度実績>

### 【収集】

- ・生物多様性情報の集積・データベース化

### 【利活用】

- ・相談対応・助言・提案（来所・電話等相談対応 延べ557名）
- ・令和6年9月 きょうと☆いきものフェス！2024の開催（参加者：約1万人）
- ・令和6年9月～令和7年1月 企業向けセミナーの開催（全4回実施、322名参加）
- ・令和6年11月 展示スペースにおいて、保全活動に関する展示物の募集開始
- ・令和7年3月 「生物多様性に関する流域連携のキックオフ・フォーラム」の開催（参加者：179人）



きょうと☆いきものフェス！2024



企業向けセミナー



区役所正面玄関における展示

# 目標①～④ きょうと生物多様性センター

## < 令和6年度実績（続き） >

### 【継承】

- ・ 環境学習・担い手育成及び情報発信（交流オフィスにおける環境学習）主催：3事業 57名
- ・ 令和6年7～8月 きょうと生物多様性センタークイズラリーの開催（参加者：50名）
- ・ 令和6年7～8月 夏休み自由研究の相談会（参加者：47名）
- ・ 令和6年10月 モス広河原によるモスリウムワークショップ（参加者：9名）
- ・ 令和6年12月 京都産業大学の学生らによる雨庭実験ワークショップ（参加者：2名）
- ・ 常設展示の製作
- ・ 寄贈図書目録のアーカイブ化・HPでの公開（令和7年3月末時点の配架数：300冊）
- ・ 第27回国際昆虫学会議にて、4施設（京エコロジーセンター、きょうと生物多様性センター、さすてな京都、青少年科学センター）のパネル展示を実施



夏休み自由研究の相談会



モスリウムワークショップ



若手担い手育成研修会

# 目標①～④ 事業者等との連携

## ●武田薬品工業(株)京都薬用植物園

### <概要>

令和3年度に締結した「生物多様性保全に関する協定」に基づき、同園を活用した取組の更なる展開を目指し、京都に自生する希少な植物の保全や自然観察会の実施など、連携した取組の実施

### <令和6年度実績（抜粋）>

- ・ 令和6年12月 さすてな京都において、環境教育プログラム「観察と実験でSDGsを学ぼう！～ゾウのうんちが薬用植物づくりに役立つ！？～」を実施
- ・ 令和7年 2月 青少年科学センターにおいて、科博連サイエンスフェスティバル「いきもののサイクル～見て、触って、臭いをかいで、学んでみよう～」を出展



科博連サイエンスフェスティバル



観察と実験でSDGsを学ぼう！

# 目標①～④ 推進プロジェクト

## ●恵み豊かな森づくりプロジェクト②東山の森づくり

### <概要>

京都伝統文化の森推進協議会と協働し、東山等において多様な動植物が見られる生物多様性豊かな森づくりを推進

### <令和6年度実績>

- ・令和6年 5月 自然観察会試行実施（第2回）の開催  
（参加者：9名(協議会関係者)）
- ・令和6年 9月～12月 動物相の簡易調査の実施
- ・令和6年 9月、10月 京都三山の森づくり（將軍塚の森づくり、清水山の森づくり）を開催
- ・令和6年10月 自然観察会の開催（参加者：22名）
- ・令和7年 1月 「キクタニギクの咲く菊溪の森づくり」を開催
- ・ポータルサイトにおける情報発信 (<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/higashiyama/>)



自然観察会（東山）

## ●恵み豊かな森づくりプロジェクト③西山の自然環境保全

### <概要>

小塩山及び大原野森林公園における保全活動団と協働し、希少な動植物が生息する西山の自然環境保全を推進

### <令和6年度実績>

- ・令和7年 1月 自然共生サイトの認定に係る申請書の作成支援
- ・ポータルサイトにおける情報発信 (<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/nishiyama/>)



# 目標①～④ 推進プロジェクト

## ●水と緑のネットワーク形成プロジェクト

### ①「宝が池の森」の保全・再生・利活用

#### <概要>

『宝が池の森』保全再生協議会と協働し、宝が池とその周辺の森の保全・再生・利活用に取り組む。

#### <令和6年度実績>

- ・ 令和6年 6月 第1回協議会に出席
- ・ 令和6年10月 宝が池連続学習2024第4回「豊かなみどりを活用していくための行政計画」に出席し、自然共生サイト・OECMの動向について話題提供
- ・ 令和6年12月 宝が池宝が池連続学習2024第5回「都市公園の自然共生サイトへの登録事例にまなぶ」に出席し、意見交換

## ●水と緑のネットワーク形成プロジェクト

### ②天然アユなどの川の恵みを豊かにする活動推進

#### <概要>

京の川の恵みを活かす会等と協働し、アユ等が生息できる環境作りや持続可能な利用を推進

#### <令和6年度実績>

- ・ 京の川の恵みを活かす会、京都大学淡水生物研究会との意見交換を実施

## 森をしらべる・森をそだてる・森をつたえる 宝が池連続学習会2024

主催：（公財）京都市都市緑化協会 / 「『宝が池の森』保全再生協議会」（無休発行）

『宝が池の森と水辺の再生へ』  
～ビジョンをもとにプランと行動へ～  
(全6回) ※第4・5回ご案内  
対象：中学生以上  
【定員・座学50名程度/フィールド20名程度】  
※要申込み・有料

美しいツツジが咲きほこり、森・池・川が  
つながるすばらしい宝が池のフィールド。  
一方松枯れ・ナラ枯れ・シカの増加による  
問題が次々とふりかかり劣化が進む  
森や水辺。そして安全性の懸念も…  
原風景をさぐり、知識を身につけ、  
さまざまな人が森にかかわりながら  
多様な“いのち”が躍動する楽しい森・  
豊かな森をとりもどすための大切な  
‘視点’と‘手法’を学ぶ実践的学習会です。



第4回  
『豊かなみどりを活用していく  
ための行政計画』  
話題提供①「みどりの基本計画について」  
（京都市みどり政策推進室）  
話題提供②「自然共生サイト・OECMの動向」  
（京都市環境保全創造課）  
日時：2024年10月27日（日）  
13:30～15:45  
会場：京都工芸繊維大学15号館N105  
●午前の部：10時～12時「宝が池公園内」にてフィールドワーク

第5回  
『都市公園の‘自然共生サイト’  
への登録事例にまなぶ』  
事例紹介「兵庫県立自然公園あわじの環境公園緑地」  
～参加者によるディスカッション～  
講師：澤田 佳宏氏（兵庫県立大学大学院・兵庫県立淡路園芸学校 准）  
日時：2024年12月22日（日）  
13:30～15:45  
会場：京都産業大学（予定・調整中）  
※会場・タイトル等変更の可能性があります。

■お申し込み・お問い合わせは…  
公財法人 京都市都市緑化協会 宝が池子どもの未来館管理事務所  
TEL:075-781-3010 FAX:075-781-4422  
E-mail:rakuen@kyoto-ga.jp（野田・小林）  
※京都市都市緑化協会ホームページ  
（イベントカレンダー）からお申し込みいただけます。→→→  
【参加費】  
●1回：一般600円  
（大学生400円  
中学生250円）  
●第6回は日程調整中  
終日フィールドワーク

宝が池：宝が池連続学習会



天然アユ：鴨川の生きものの生息調査



# 目標①～④ 推進プロジェクト

## ●食と農業プロジェクト①環境保全型農業の推進

### <概要>

環境に配慮した農産物の生産・消費を促進することで、生物多様性保全機能をはじめとした、多面的機能が発揮される持続可能な農業を推進

### <令和6年度実績>

- ・NPO法人木野環境と(株)中嶋農園が実施する環境配慮型農業「わたしの田んぼプロジェクト2024」の実施地において、生きもの観察会や動植物の生息調査を実施



## ●「京都らしさ」を支える生きものプロジェクト

### ①「京都らしさ」を支える生物資源調査

### <概要>

京都らしさ（伝統、文化、産業、景観等）を支える生物資源の現状等を把握し、保全・回復の取組を講じることで、生物資源の持続可能な利用を図る。

### <令和6年度実績>

- ・ポータルサイトにおいて調査結果を引き続き掲載  
(<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/chousakekka/>)



小さな稲穂農場が挑戦するあたらしい米づくりの取り組み  
わたしの田んぼプロジェクト 2024のご案内  
このプロジェクトはおくを自らの手で作る体験を惜やしたいという思いから始まりました。  
今年度からは「ソーラーシェア・アイガモ農法@向島」と「バイオ液肥・特別栽培@京北」の2コースを募集します。



■あなたは本格派？里山派？

| ソーラーシェア・アイガモ農法コース@向島                                                                                                                                    | バイオ液肥・特別栽培コース@京北                                                                                                                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ●サステナブルで本格的なお米づくりに挑戦！<br>ひとつの田んぼで稲作・再エネ発電・アイガモ除草を組み合わせた取り組みです。田植えから収穫までに必要なすべての作業に参加します。有機 JAS 認証取得を目指す農法で除草剤を使わないため、参加者には農場の単位作業にも積極的な参加を求める本格的なコースです。 | ●うつくしい里山で田植えと稲刈りを体験しよう<br>里山の風景と、まずは農作業を体験することを重視したコースです。草の管理は農家にお任せなのでお手がかるに参加できます。小さなお子様の体験や初めての一歩におすすめです。減農薬等の基準を満たしている特別栽培で、肥料には生ごみからリサイクルしたバイオ液肥を使います。 |



「わたしの田んぼプロジェクト2024」

生物種ごとの調査結果  
以下、写真をクリックしてください。

|                                                                                                    |                                                                                               |                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>マツ (アカマツ) | <br>マツタケ | <br>竹 (マダク、モクジョウチク) |
| <br>タケノコ      | <br>キキョウ | <br>アユ              |

ポータルサイトへの掲載

# 京都市生物多様性庁内連絡会議

## <概要>

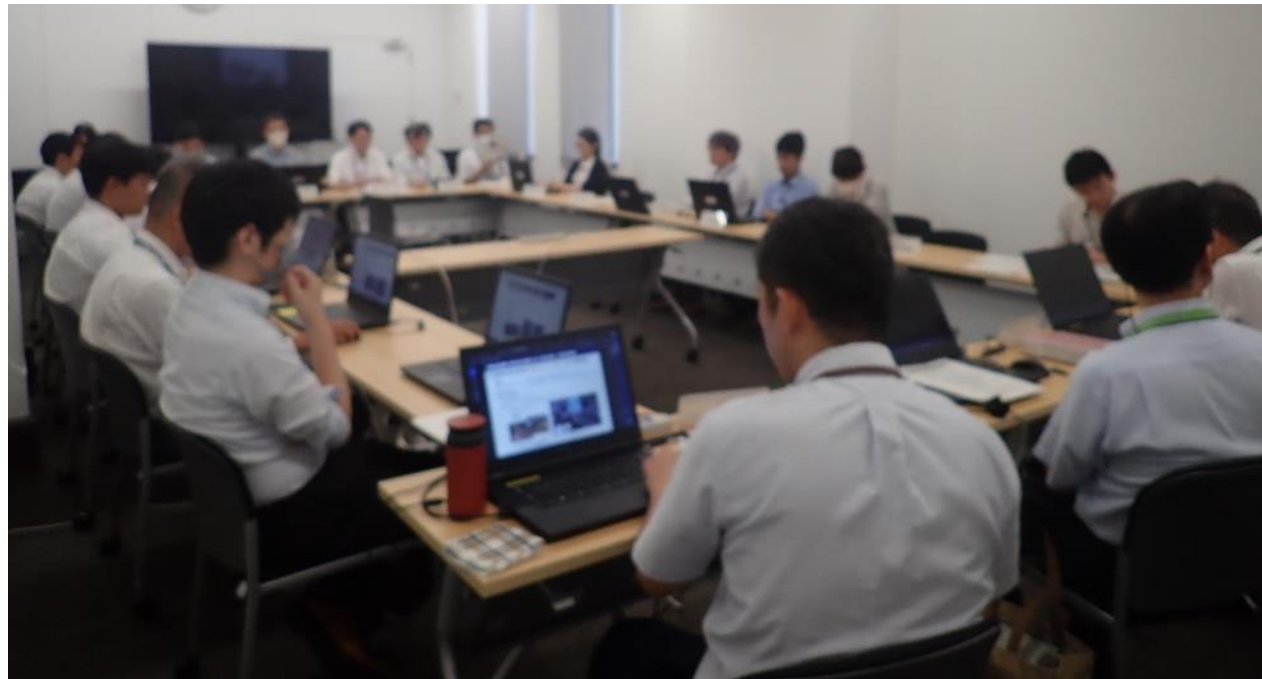
京都市生物多様性プランに関連する本市の施策や取組状況等について、情報を共有するとともに、相互に連携し、全庁により横断的にプラン推進を図る。

## <令和6年度実績>

・令和6年8月 令和6年度第1回会議

- (議題)
- ・京都市生物多様性プラン（2021-2030）に掲げる施策の取組状況及び評価状況
  - ・京都市生物多様性プラン（2021-2030）の中間見直しについて
  - ・市有地における自然共生サイトへの申請内容等について
  - ・クビアカツヤカミキリの対応について

- (報告)
- ・京のグリーン農業推進事業の取組について
  - ・琵琶湖疏水の取水口におけるオオバナミズキンバイ等駆除



会議の様子